

令和2年度11月 第2回 学校関係者評価委員会 議事録	
開催日時	令和2年11月13日（金）17時00分～19時00分
開催場所	東京工科自動車大学校世田谷校 303 教室
参加委員 （★委員長）	中村 雅一・三羽 和彦・佐藤 学・西川 浩之 佐藤 久郎 欠席者★井組 浩紀・小野 宗憲
参加事務局	佐藤 康夫・武井 和則・麻野 利治
会議録	【次 第】 日 時 令和2年11月13日（金）17:00～19:00 会 場 東京工科自動車大学校世田谷校 302 教室 - 開会・校長挨拶 東京工科自動車大学校世田谷校 校長 佐藤 康夫 - 委員会成立の確認 - 議長・書記の選出 - 議事 議事（議長） 第1号議案 前回議事録確認についての質問等 第2号議案 公開情報更新について 第3号議案 令和2年度 取り組みに関する進捗状況 - 就職 - 資格取得 - 在籍状況・募集状況 - その他 - 意見交換 - 事務連絡（事務局） - 学校関係者委員の更新について - 次年度日程の確認（7月実施予定） - 閉会 <配布資料> - 議事次第 【資料A】 - 令和2年度 第2回学校関係者評価委員説明資料 【資料B】

	1. 開会・校長挨拶（世田谷校：校長） 2. 委員会成立の確認（事務局） 会則第5条の基づき、出席者が委員総数の過半の出席を満たしているため成立していることを確認した。 3. 議長選出 事務局より委員長井組氏欠席のため、大成技研佐藤氏を議長に推薦し、急な欠席のため書記は事務局とし全会一致で承認され、以後進行は議長による。 4. 議事（議長） ・新型コロナ対策のため、短時間での委員会運営を行う必要があり審議については、議事・議案報告終了時に行うこととなった。 1) 第1回学校関係者評価委員会終了後送付された、議事録についての質問等 ・前回議事録についての質問等はなく2号議案に進む 2) 公開情報について（事務局・校長） ・職業実践専門課程の様式に合わせ、7月末のホームページ上に公開を行ったことを報告した。 3) 令和2年度 取り組みに関する進捗状況（事務局・校長） I. 就職 就職については、4月60%から毎月上げて行き、8月100%を目標としているが、優良企業の求人は早く、優良企業に学生達を就職させるために8月末100%を目標としている。世田谷校としては8月末92%という結果になった。100%を達成したのは10月末となった。これは学生の活動が遅かったのではなく、コロナ禍の影響で企業さまの日程の遅れ、書類の遅れもあり、結果として10月末100%となった。 1級に関してはメーカー系の就職目標を設定しており、前年度は100%の報告をさせて頂いていますが、今年度は57.9%となっています。メーカー以外の就職希望もありますが、今年度はメーカーの採用も減少し乖離があった。 メーカー系の就職については今後の課題を残す結果となった。 II. 資格取得 2級については目標100%、1級については90%の合格目標を設定しており、前回の委員会では2級の100%は報告している。 1級に関しては筆記については、第1回の委員会で報告し95.2%、前回は5月実施の口述試験が延期になっており報告できなかったが、8月に試験が実施されその結果筆記合格者全員が合格した。事業計画目標の通りの結果がここ数年出ている。 この結果を維持するために、中野、世田谷、品川で1級プロジェクトを立ち上げており、競合して合格率を高めていこうという動
--	---

	きをしていますが、今年度も続けスタートしている。 3校共通模擬試験の実施を行うがコロナの影響でスタートが遅れた関係で、今年度は1回分減となる。 世田谷校としては、少人数制クラスで対策をきめ細かく実施する。 2月にはJAMCA（全国整備専門学校協会）の全国模試を実施予定 資格取得について結果と今後の予定が説明された。 Ⅲ．在籍状況・募集状況 一時帰国した留学生がコロナの影響で入国できず、学校と連絡を取り合った結果休学し来年度やり直すこととなり、休学者が増えている。休学の学生はコロナの影響だけではないが、コロナの影響での休学がいるため休学者が増えている。 休学者の殆どが次年度復学予定である。 ビザ更新の際に、アルバイトの状況を入国管理局で確認するが、時間オーバーで更新できず、日本にいられない状況で退学となり在籍率も下がる原因となる。と在籍状況について説明された。 募集については、コロナの影響が強く出ている。 1・2年からオープンキャンパスに集客し、3年生になり進路指導、3者面談により早期に進路が決まる傾向にあるが、オープンキャンパスは6月スタートで時期が遅れてしまい、5月よりオンラインでも行っているが、対面型のオープンキャンパスの遅れ、高校の進路指導の遅れの影響が出ている。また、高校でのガイダンスの開催が3月からなかったことも大きな要因である。 10月末での世田谷校の募集は昨年とほぼ同水準だが、スタートの遅れが今後に影響してくる可能性がある。と募集について厳しい状況が説明された。 今年度夜間課程募集停止についての説明がされた。 Ⅳ．その他 高等教育無償化就学支援許可対象者14名の説明が事務局より行われた。 3月目での小山学園教育日程（予定）が報告された。 5．意見交換（議案についての質問等） ・年度毎の各科出願数変動について 社会状況に応じて出願数が年度毎に違う。今年度はコロナの影響もあり経済的に4年制が厳しい事が考えられ、2年制出願増と考えられる。今後は3年次編入で導きたい。 ・メルセデス・ベンツコースの出願について イベントからの早期出願が例年多く、今年度はコロナ禍の影響で3月、5月のイベント中止が出願減の大きな要因と考えられる。現在地方からの反応者も多く、今後はオンライン対応で定員確保は可能と考える。
--	--

	委員の質問等が終了し、議長より第1号議案～第3号議案についての審議の確認が行われ第1号議案～第3号議案について承認された。 6. 事務連絡 次回、令和3年度 第1回学校関係者評価委員会は、オリンピック等の関係で学園年間スケジュールを調整中のため確定次第のご案内となった。 7. 閉会 令和2年度第1回学校関係者評価委員会が閉会された。 以上
	委員会風景 